

ワンキー・マウス 遅延起動機能説明書

Rev.5.10

- ◆ ワンキー・マウスの遅延起動機能について説明します。マウス機能については操作ガイドおよび CD-ROM 内の取扱説明をご覧ください。
- ◆ 遅延起動機能は、パソコンの電源オン後一定時間ワンキー・マウスのスイッチ操作を受け付けないようにしたもので、パソコン起動時の誤操作を避けるための機能です。



◆ 使い方

- インストール方法は通常のワンキー・マウスと同じで、USB ポートに接続するだけです。
- USB ポートに接続するとワンキー・マウスのランプが約20秒(出荷時設定)の間点灯します。
- ランプ点灯中は操作スイッチをオンにしても反応しません。
- 20秒後にブザーが鳴り、ランプが消えてスイッチ操作が可能になります。
- ランプ消灯時の使い方は通常のワンキー・マウスと同じです。
- パソコン起動時、電源オン直後にランプが点灯し、USB ポートの動作開始から約20秒後に消灯します。

◆ 遅延時間の設定

- USB ポートの動作開始からスイッチ操作が可能になるまでの時間(ランプが点灯する時間)は、設定ソフトの「左ボタンロック」の項目で選択します。
- 「左ボタンロック」の設定値に対応する時間は、以下のとおりです。
 - 1:なし 60秒
 - 2:長 30秒
 - 3:中 20秒(出荷設定)
 - 4:短 10秒
- パソコン起動時は電源オンから USB ポートの動作開始までの時間がかかるため、ランプの点灯時間は設定した時間より長くなります。Windows のデスクトップが表示されるころに消灯するように設定してください。
- 時間設定によりパソコンの起動時間は変わりません。